

# 2025 年度事業計画

## 1. 図書館事業

### 1. 収集

- ① 寄贈・寄託資料の受入
- ② 資料の購入（雑誌欠号補充ほか）
- ③ 寄贈・寄託事務規定等整備

### 2. 整理

- ① 寄贈・寄託および購入資料の整理

図書 〈整理・登録予定〉

大手出版社新刊ほか出版社・個人寄贈書

曾根博義文庫（継続 2025 年 1 月末現在 5,295 冊登録済）

青木鐵夫収集藤枝静男コレクション（継続）

〈整備・登録準備 継続〉

坂上弘文庫

紅野敏郎文庫

今東光文庫

ほか 計約 4,000 冊

雑誌

出版社寄贈新刊、同人誌、会報、紀要

購入雑誌（主に欠号補充）

紅野文庫、今東光文庫、河井醉茗・島本久恵・島本融文庫

美土路昌一コレクション（追加・未整理分）

ほか 計約 10,000 点

特別資料 〈登録予定〉

河井醉茗・島本久恵・島本融文庫

奥田茉莉旧蔵資料、高橋英夫資料、坂上弘文庫

今東光文庫、水上勉文庫

ほか 計約 3,000 点

〈整備・登録準備 継続〉

志賀直哉コレクション

- ② 図書・特別資料の遡及入力

図書 一般書架配架の作品、全集正本

特別資料 文庫・コレクションを中心に（継続）

- ③ 特別資料のデジタル画像化

### 3. 閲覧・公開

- ① 駒場本館 休館日＝日曜、祝日以外の月曜、月曜祝日の翌火曜（または月曜を含む連休

- の翌日)、第4木曜、年末年始、特別整理期間  
成田分館 開館日＝毎月第1、第3土曜日（12月の第3土曜日、年始を除く）
- ② 資料複写、資料写真サービス  
視聴覚資料を閲覧室の専用コーナーで順次公開する

## 4. 出品等協力

- <企画展示の貸出し>  
群馬県立土屋文明記念文学館「愛の手紙—友人・師弟編」展（秋）  
仙台文学館「樋口一葉」展（秋）  
徳島県立文学書道館「青春の詩歌」展（秋）

## 5. 特別整理期間

- 6月17日（火）～21日（土）／2026年2月17日（火）～21日（土）  
（書架調整、曝書、庫内清掃、衣類など布製資料の虫干しほか）

## 6. 図書資料委員会

- 5月、9月、12月の年3回開催予定

## 7. 志賀直哉コレクション研究委員会

# 2. 展覧会事業

## 1. 春季特別展「北原白秋生誕140年 白秋万華鏡」

- 会期：4月5日（土）～6月14日（土）  
編集委員：中島国彦、坪井秀人  
図録作成予定
- 部門構成：
- 1 白秋詩歌の輝きの誕生—万華鏡の舞台裏
  - 2 雑誌からみる白秋の生涯
  - 3 多彩なジャンル・幅広い読者
  - 4 変幻自在な白秋—場所・空間の移動
  - 5 装幀へのこだわり
  - 6 文学者とのかかわり
- 4月26日、イベント開催予定 対談：中島国彦、坪井秀人

川端康成記念室「川端康成の青春」と同時開催

## 2. 夏季企画展 「教科書のなかの文学／教室のそとの文学Ⅲ 森鷗外「舞姫」とその時代」

会期：6月28日(土)～9月6日(土)

編集委員：須田喜代次、紅野謙介

## 3. 秋季特別展 「戦禍と文学」(仮題)

会期：9月13日(土)～11月22日(土)

編集委員：大原祐治、山根龍一、林淑美

図録作成予定

川端康成記念室＝「川端康成の本」を同時開催

## 4. 冬季企画展 「日本近代文学館を展示する」(仮称)

会期：11月29日(土)～2026年3月28日(土)

編集委員：未定

# 3. 講座・講演会事業

## 1. 文学館へ行こう！

主に大学生・大学院生を対象とする文学館利用案内講座

春秋各2回、定員各回10名程度

## 2. 資料は語る「動物のいる文学誌」

前期：3回＝4月・5月第3土曜日、6月第2土曜日、

後期：3回＝9～11月、各第3土曜日、定員各回30名

【前期】

4月19日 庄司達也……「芥川文学」異類との交響—河童、貂、馬の登場する文学誌

5月17日 片野ゆか……愛犬王・平岩米吉の世界

6月14日 和田博文……猫という鏡には、何が映し出されているのか

【後期】

9月20日 森晴雄……室生犀星の金魚と鯉

10月18日 村上克尚……大江健三郎「飼育」を再読する

11月15日 青木奈緒……猫のしっぽ鯨のひげ

## 3. 声のライブラリー (公益財団法人石橋財団に映像制作費の助成申請)

文学者2名の自作朗読と対談。9月、10月、11月各最終土曜日、定員各回50名

アーカイブについて従来の閲覧室での DVD 視聴のほか、オンライン配信を開始。

#### 4. 「教室」と「文学」をつなぐ—日本近代文学館を橋渡しとして

7月～8月（日未定）開催

夏季企画展にあわせ、中学高校教員を対象に、教育現場での文学館活用法（ミニレクチャー）や意見交換会をおこなう。ZOOM 併用。

#### 5. 第 60 回 夏の文学教室

##### 「ひとりぼっちの文学史——世界とどう接続するか」（仮題）

読売新聞社後援、小学館協力、有楽町・よみうりホール、各日講演 50 分×3 コマ 6 日間  
7月28日（月）～8月2日（土）各午後1時半～4時20分

#### 6. 文学館演習—日本近代文学資料の探索と処理

8月26日（火）～30日（土）、館ホール、午前10時～午後5時10分（1日4コマ、計20コマ30時間、2単位）。定員30名

講師：石田仁志、大原祐治、五味淵典嗣、坪井秀人、出口智之、山岸郁子、山田俊治、吉田司雄、和田博文、渡部麻実、事務局職員

#### 7. 文学館職員研修講座

2026年1月下旬の3日間（日未定）

## 4. 刊行事業

### 1. 「文学者の手紙」

館編、博文館新社発行、「日本近代文学館資料叢書」第Ⅱ期

第8回配本別巻『写真アルバム』（編集翻刻・池内輝雄、紅野敏郎、曾根博義、十川信介）の準備（本文校了済、博文館新社で製作進行中）

### 2. 紀要「日本近代文学館年誌—資料探索」第21号

2026年3月刊行予定

編集委員：小平麻衣子、河野龍也、十重田裕一

### 3. 『日本近代文学大事典』増補改訂デジタル版

引き続き元版の改訂、増補・書直し・新規立項あわせて約100項目の編集、雑誌創刊号・

初版本書影等写真の補充作業を行う（第5期：2026年3月公開予定）

編集委員：中島国彦（委員長）

安藤宏、紅野謙介、宗像和重（統括委員）

石川巧、石田仁志、大原祐治、小平麻衣子、河野龍也、小谷瑛輔、五味渕典嗣、  
篠崎美生子、庄司達也、出口智之、鳥羽耕史、中谷いずみ、日比嘉高（編集委員）

## 5. SARTRAS 共通目的事業

日本近代文学大事典の継続的構築（元版修正、新規・増補原稿編集、写真補充等データ整備の継続）として、2024年2月22日付で助成決定通知

申請総額 21,550,000円（事業費総額25,870,000円）

うち、2024年度分として10,750,000円（事業費総額12,910,000円）…完了

2025年度分として10,800,000円（事業費総額12,960,000円）

また、2026年度に「デジタルミュージアム」（仮称）搭載ホームページの公開を目指し、改修・制作費の助成を、2025年度中に申請する

## 6. 運営審議会

- ・6月28日（土）、2025年度運営審議会開催予定

## 7. 全国文学館協議会

- ・6月18日（水）、幹事会、2025年度総会開催予定
- ・11月14日、第10回展示情報部会を前橋文学館（群馬県）にて開催予定

## 8. 広報

- ・館報「日本近代文学館」を続刊
- ・ホームページの改修を計画

## 9. 設備改修工事

- ・正面玄関階段補修（2026年2月）
- ・エレベーター巻上機・制御盤更新工事（2026年2月）

## 10. 建物管理保全

- ・長期的な修繕の展望を立てて、問題点を明らかにする（本館地下倉庫の改装、変圧器の更新、照明器具 LED 化、外壁タイル修繕、建物耐震検査など）

## 11. 島本融基金

- ・過去年度分も含め、河井醉茗・島本久恵・島本融資料の分類整理されたことに対する費用を支払う

## その他

- ・現行の図書管理システム（LX3.0）のメーカー保証が2026年12月に終了するため、2025年度中に移行先のシステムの選定・契約、データ移行をおこない、2026年度上半期までに新システムの本稼働を目指す